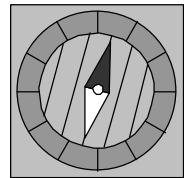


Orienteering Explorer

Internet Site Picking, Produced by Orienteering Magazine Project



Site #9:「OCワンダラーズ」 <http://www.hi-ho.ne.jp/bread/wanderers/>

関東のオリエンティアにはおなじみの、元旦未明に横浜周辺で行われるナイトO「元朝大会」。今回はその主催クラブであるワンダラーズが登場。ナイトOと言っても、住宅地特有のいろいろな問題を乗り越えての開催となり、その苦労には頭が下がる。そういった背景から、昨年の大会はお休みを余儀なくされたが(有志により別途開催)、今年の正月で復活。これを契機に、通常の大会も開催復活に向けて動き出しているという。事務局の今井信親さんから話を伺った。



ホームページ上のクラブ紹介

1. 元朝大会とは

元朝は「がんちょう」と読んで下さい。元旦の朝のナイトオリエンテーリング大会ですから、その年の世界初のOL大会となるのでしょ。元朝は今回で27回となり、要項に「元朝は復活します」とあります。これは昨年元朝を開催することができずでしたが、毎年参加し

ていただいている有志の方々によって別途開催されました。幸い今年元朝は復活できました。これも元朝を愛する皆様のおかげと感謝いたしております。元朝の開催のきっかけ、復活のいきさつなどを書いてみます。

2. 「元朝」の誕生

クラブ創設に深く関わった元クラブ員金江宏氏は「元朝発祥のいわれですが、昭和50年頃、ワンダラーズ創業者田口肇(雑誌O-JAPAN編集者)さんが、ゴールでOL仲間と初日の出を拝めないだろうかと持ちか

けたのが最初だったと記憶しています。やって見ようと、クラブの人に呼びかけましたが、正月だけはカンペンと役員は充分に集められませんでした。しかし若さと勢いで第1回をスタートしました。年末の掃除、かたづけを放り出し、大晦日には元朝の準備で役員が私の家で年越し蕎麦を食べ、真っ暗な山を懐中電灯片手に走り回ったことを思い出します。それから十年ほど、年の初めは元朝が始まり、片付けが終わって、昼ごろから床につく習慣がついてしまいました。」

第1回は1976年(昭和51年)に横浜市戸塚区舞岡をスタートし、栄区本郷台にゴール、地図は1万分の1の青焼きの地図を使用しました。

3. 元朝を開催するには

元朝を開催するにあたってはいくつかの問題をクリアしなければ



表彰式風景 (AL女子トップ・志村聡子さん)



ヘッドランプが必需品！！

なりません。

その第一にトレイン近くに深夜に動く交通機関があるか。第二に深夜、ライトをつけて走り廻るので、それを目撃した住民はびっくりしてしまいます。元旦の朝の

安眠を妨げない会場、トレインがあるか。特に問題になったのは犬です。深夜に一匹の犬が吠え出すと、連鎖反応が起こりトレイン中が犬の遠吠えで埋まってしまったことがありました。

第三に安全に競技が出来るか。真っ暗闇の大会では昼間では考えられないとんでもないトラブルが occurred。競技者の安全を考えると街灯のある公園での大会に傾いてしまいがちになります。

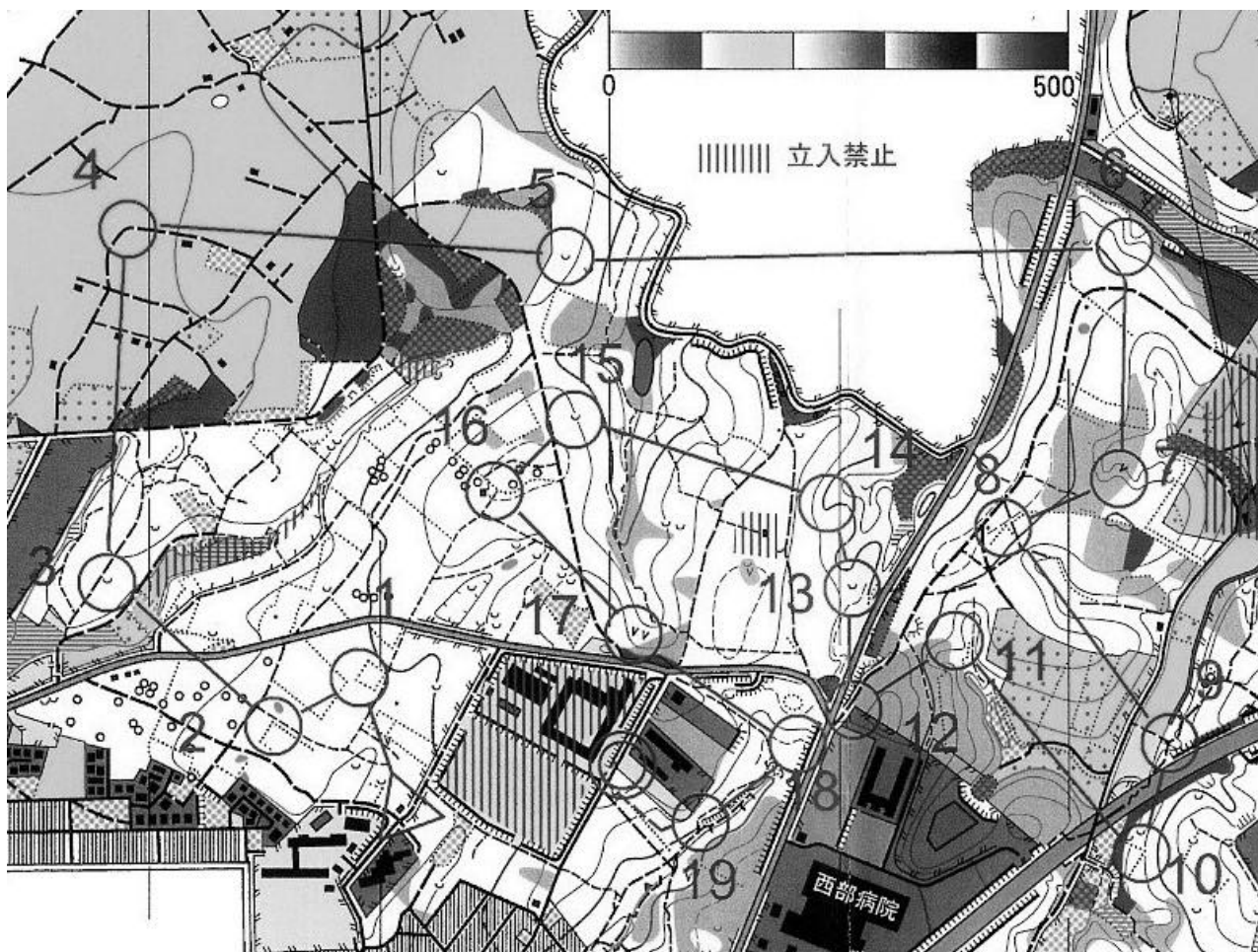
第四は当日の役員が確保できるか。ワンダラーズ会員の平均年齢は元朝と共に増し、親の介護や、子育てなど、初期のころと比べるとクラブ員の環境が大きく変化してきました。

4. 元朝復活とこれから

2001年にワンダラーズは一年に3回もの大会を開催してしまい、小さなクラブにとっては大きな負担となり、クラブ員を疲労困憊させてしまいました。また2002年元朝を開催するための条件をクリア出来ず、2002年の元朝はお休みとなりました。昨年は多くのオリエンティアの皆さんより「来年はヤッテヨ」といわれ、クラブが盛り上がり、真っ暗な中での元朝をひさしぶりになんとか復活させることができました。

ワンダラーズでは元朝の復活ついでに1998年より途絶えている春の大会を「宝の山」「葉山南郷」などで開催したいと密かに考えています。それには新しい戦力が必要です。若い方の入会をお待ちしています。

(構成：佐々木順)



この日のコース (AL). 約5 km. 真っ暗な林を突っ切らせるレッグも存在する